

教育情報です。11月から12月上旬までの記事を紹介します。

まず教育制度、教育改革 番号1番から26番までの記事です。ここの特徴としてICT関連、特に「動画」や「ヒント集」を国でも道でも企業でも盛んに作成されているという記事が多かったです。そのICT関連記事について紹介します。

2ページ1番は道教委がICT活用授業モデル「Tips編」を作成したという記事です。全道の各学校が実際の授業で取り入れた165件の実践事例を集約し、参考例としてまとめたものです。道教委は、日々の授業改善のちょっとした小さなヒントになることを期待しています。

同じページ3番は道教委が「みんなでムーブ」(みんなムー)を立ち上げ、札幌南高校ダンス部と北海道日本ハムファイターズが共同して取り組むという記事です。動画教材は、体育の時間や運動会等の行事で活用し、児童生徒にとって楽しみながら運動ができる身近なものとし年度末の完成を目指すということです。

6ページ12番は文科省が、各教科でICT機器を効果的に活用するための解説動画を作成し、公開しているという記事です。学校での実践事例に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の視点から作成しています。小・中学校、高校での活用法を視学官や教科調査官が解説し、動画で使用している資料も併せて公開しています。私ものぞいてみましたが非常に学べる内容でした。

同じページ14番はJAグループ北海道が、小・中学校、高校向けに北海道の農業や食料自給率についての食育動画の配信を開始したという記事です。

9ページ20番は文部科学省が、ことし4月に開設した子供の学び応援サイト公式LINEアカウントに、オンライン学習機能を追加したという記事です。全国学テの問題、回答、解説など約500本の学習動画を追加しました。スマートフォンなどからも手軽に自宅等での学習に活用できる、無償の教材や動画等にアクセスすることができます。

10ページ23番は道教委が道徳教育の充実を図るため動画資料やスライド資料、協議シートなどを一つにまとめた道徳教育校内研修パッケージ「“考え、議論する道徳”の実現に向けて」を作成したという記事です。

児童に一人一台のパソコンが整備されますので、それを使って何ができるのかを事前に学んだり、子どもが活動できるものを教師が把握したりすることが、特に今は大切であると思います。今紹介した動画を見ることは立派な研修になると思いますので冬季休業中にも活用したいものです。

もう一つは働き方改革関連の動きが道教委ではありました。5ページに戻っていただき10番11番になります。第4回定例道議会で給特法条例が一部改正され、1年単位の変形時間労働制を北海道は取り入れることになりました。また、現在、新しいアクションプランの作成に向けて準備を進めていると伺っております。今後、働き方改革の一層の推進に向け、どのようなプランが出されるのかを見守りたい

ですし、1年単位の変形時間労働制についてはまず校長がしっかりとその仕組みを理解しなければならないと考えます。

続いて子どもに関するこの記事では12ページ29番をごらんください。札幌市内で今年7月以降、自転車乗車中や歩行中の小学生が車にはねられて死亡するなどの重大事故が相次いでいるという記事です。重大事故の被害者はいずれも低学年です。今年の事故について、道警は「車側が歩行者をよく見ておらず、『歩行者保護』の原則を守れていない」と指摘し「子どもの突然の動きへの予測や危機意識が必要だが、足りていない」とし、ツイッターなどで安全運転を呼び掛けています。一方、今年はコロナ禍で小学生対象の「交通安全教室」の開催数（道警把握分）は9月末までに430回と前年同期のほぼ半数、札幌は全200校のうち開催は1校のみとなっていて、今年は身を守るための啓発にも逆風となっております。冬季休業に向け、コロナ対策だけでなく、今一度、交通事故や冬の事故を重点的に指導する必要があるようです。

次に教職員に関すること、危機管理については、教師のわいせつ事案の記事が大変多くなっていることが心配です。ある新聞社が特集を組んでいることもあるのですが、それにしてもほぼ毎日のように記事になります。

12ページ30番は文部科学省が教員免許の失効情報を確認できる「官報情報検索ツール」について、私立学校を設置する学校法人の利用が1割未満であることがわかったという記事です。文科省では、免職となった教員が処分歴を隠したまま私立学校に採用されないよう、利用を促していく方針です。

13ページ32番は全国知事会が政府に対し、懲戒免職処分を受けて教員免許が失効しても、3年後には再取得が可能な現行制度の見直しを行う必要があるとしたとあります。

14ページ35番は教職員によるわいせつ行為が静岡県内で相次いでいることを受け、県教育委員会は、性行動について逸脱した考えを持っていないかを教員自身が点検するチェックシートを近く導入するという記事です。

社会全体がわいせつ教師を絶対に許さない風潮が強まっており、一層の危機管理が必要です。

新型コロナウイルス関連記事は14ページ37番にあります。説明はしませんが、札幌を中心に感染拡大が広がっていった11月でありました。皆様の学校でも様々な事案があり、対策、対応で苦慮されていたことと思います。ご苦労様です。

38番以降はその他の記事です。時間の関係から紹介は省きます。のちほどお読みください。